

奨励賞

くらし
鳥取県倉吉市

コミュニティ部門

農林漁業

耕作放棄地
対策

学生・若者の
活躍

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

とっとりけんりつくらよしのうぎょうこうとうがっこう やさいくらぶ

No.1 鳥取県立倉吉農業高等学校 野菜クラブ

～TOTTORIパパイヤ普及作戦～



本校産のパパイヤ苗を生産者へ販売



地域の農家さんと一緒に収穫

取組経緯

- 農業高校における学習で鳥取県の農業の高齢化が進み、耕作放棄地が増加している現状を知る。
- それに歯止めをかけるためには、省力的に栽培でき、収益性の高い作物が求められると考えた。
- 青パパイヤに着目し、栽培・利用方法を研究して、有用性について学んだノウハウを地域へ普及することを目的に活動開始。

取組概要

- 研究を開始した平成30年に鳥取県でパパイヤが栽培可能であることを実証。
- 県内に青パパイヤの需要があることがわかり令和2年から農家への普及に取り組む。
- 青パパイヤの種子を入手し育苗方法を確立し、苗の供給に取り組む。
- 普及のため、収支の実績値をもとにした経営試算の試みや、パパイヤ栽培の管理作業時間についても実測し、考察した。

活動の効果

- 苗が高価であることが普及のための高いハードルであると考え、1200本のパパイヤ苗を生産したことで、県内各地において栽培が広がっている。
- 果実を食用とするだけでなく、葉の加工によるリーフティーの製品化に取り組み、6次産業化を視野に入れた利用方法の研究に発展している。

奨励賞

みささちょう
鳥取県三朝町

コミュニティ部門

耕作放棄地
対策

環境保全・
景観保全

教育機関との
連携

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

とくといへいりかつどうほうじん さとやまちいきけんきゅうかい

No.2 特定非営利活動法人 里山地域研究会

～子供たちにさまざまな体験を提供します～



一列に並んで田植えです



花桃植栽完了

取組経緯

- 田舎の子供でさえ野外で遊んだり学んだりする機会は余りなく、保護者もそのような経験が殆どない。
- 体験を通して自然の中にある知恵や山・川・海の危険や楽しみを学ぶことが子供たちの成長に必要なだと考えて活動を開始。

取組概要

- 小学校1年生～6年生を対象に、毎月1回体験活動を実施。川遊びとBBQや雪遊びなど季節ごとにさまざまな活動を提供。
- 毎年約0.1haの竹林整備体験を実施し、竹カップや竹皿を作り、竹飯作りに利用。
- 三朝小学校5年生の授業の一環として、「山・川・海は繋がっている」をテーマに学習した後、植樹や草刈りの体験を実施。

活動の効果

- 体験活動は児童だけでなく、保護者や中高生がボランティアとして参加し、活動の継承や地域の交流に貢献。世代間の交流が生まれ地域の活性化につながる。
- 県道沿いに地域協議会・子供たち・保護者で50本のモミジを植え、地域の景観形成に貢献。
- 様々な体験を通じて自分の住んでいる町の良さに気づき、故郷を愛することにつながっている。

奨励賞

はまだし
島根県浜田市

ビジネス部門

農林漁業

企業との連携

食育・教育



かぶしきがいしゃ せんばらちやえん
No.3 株式会社 扇原茶園

～「和のツーリズム」によって笑顔を育てる。～



地元小学校 お茶に関する座学の様子



生産者・販売店・消費者との交流会の様子

取組経緯

- 創業当時から地域の方にお茶摘み体験をしてもらうなど、人との交流の中でお茶栽培を行ってきた。
- お茶畑を機軸に、お茶に触れる体験の場を提供しながら様々な人との交流や、また、次世代を担う子供たちに農業の現場を通して、田舎や農業の素晴らしさを伝えたいとの思いから取り組んでいる。

取組概要

- 日本茶の栽培・加工・販売・体験農園等の取組を実施。
- お茶の取引先飲料メーカーと地元スーパー等と連携した顧客向けの茶畑体験を実施。
- NPO法人を立ち上げ、シェアハウスを作り、定住促進に取り組む。
- 市内の官民協働施設の刑務作業として、施設外でお茶栽培の指導・支援を実施。

活動の効果

- 地元小学校の家庭科の授業の講師として小学校に出向き、お茶を通じて和の心を伝える活動や、農業・農村体験を行い、食育活動に繋がっている。
- シェアハウスを作り定住につながる取組を進めることにより、地域の活性化に貢献している。

奨励賞

いいなんちょう
島根県飯南町

コミュニティ部門

企業との連携

耕作放棄地
対策

農福連携

山口

島根★

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

かぶしがいいしやあゆみ

あゆみのうえん (しゅうろうけいぞくびーがたじょうしよ)

No.4 (株)あゆみ あゆみ農園(就労継続B型事業所)

～三方よし！農地を守る地域商社！～



市場ニーズの高い農作物を栽培しています



農作物を袋詰め作業をしています

取組経緯

- 障がい者支援事業部としてあゆみ農園を開設。
- 飯南町主催農業研修で、町の農業実態を行政・農家から聞き、幅広い農福連携ができないか協議。生姜をメイン農作物に据えた事業展開を検討。
- 農作物の栽培・産直へ委託販売等を実施。

取組概要

- 農家・販売先と連携し、農家が農作物を栽培し、あゆみへの配送を行い、利用者が農作物の袋詰め等の作業を行い、販売先への配送や、販売先や農家との単価調整、販路開拓を行う。販売先は農作物の販売、広報を担当する仕組みを創設。
- 耕作放棄地増加から草刈り作業を開始。

活動の効果

- 障がい事業に理解を示した農家、株式会社と連携することで、農福連携を実施する前と比較して2020年度の年間一人当たりの平均工賃月額は2倍近くに上昇した。
- 農福連携により、農作物の流通先が拡大したことで、農家の所得が向上し農家の経営安定、地域活性化の効果が得られた。
- 草刈り作業の環境保全活動は耕作放棄地削減に貢献。

奨励賞

島根県おおなんちよう邑南町

ビジネス部門

地産地消

農福連携

学生・若者の
活躍

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

いっばんしゃだんほうじんちいきしょうしゃびれっじぷらいどおおなん
No.5 一般社団法人地域商社ビレッジプライド邑南

～地域で雇用と経済循環を目指す地域商社～



蕎麦店を起業した地域おこし協力隊



地域住民の生活支援の拠点のスーパー

経緯

- 邑南町の推進する「A級グルメ構想」を担う機関として、邑南町観光協会から2017年に分社化。
- 地域おこし協力隊の支援事業を継続して料理人を育成。食と農を基軸とした産業振興の推進を行っている。

取組内容

- 地域おこし協力隊を受け入れ、起業の後押しをしている。
- レストラン等で地元農産物を活用し、地産地消に取り組んでいる。
- スーパー・GSの運営、配食サービスや移動販売を行い、町民の生活支援に取り組む。
- 小中学生を対象に食に関わるプロジェクトを実施し、様々な体験を提供。
- 町からふるさと納税事業を委託される。

活動の効果

- 地域おこし協力隊の制度開始から57名を受け入れ、うち10名が起業。
- 10年で30店舗だった飲食店が50店舗に増加した。
- ふるさと納税事業では寄付額が3倍となり、町内事業者の所得向上につながっている。

奨励賞

岡山県津山市

コミュニティ部門

山口

島根

鳥取

広島

岡山★

愛媛

香川

徳島

高知

地産地消

食育・教育

学生・若者の
活躍

おかやまけんりつつやまひがしこうとうがっこう しょくもつちょうりか

No.6 岡山県立津山東高等学校 食物調理科

～地域の食材でみんなを笑顔に～



生徒企画・運営のつやましょうがまつり



地産地消オリジナルレシピコンテスト

取組経緯

- 津山市は昭和30年頃からショウガ栽培が広く普及している。
- 津山市で岡山県産しょうがの1/3が生産されているが、若者や地域住民でも知らないという現状を知る。
- 食について学ぶ高校生が地域食材について理解を深め、地域に広がることを目指し活動を開始。

取組概要

- 地域食材を使用した商品開発を行い、しょうがシロップや津山産小麦のホットケーキミックス、作州栗のマロングラッセなどの商品を企業に提案し、商品化。
- 津山市・地元企業などの協力のもと独自の料理コンクールの開催や生徒による企画・運営により「しょうがまつり」を開催。
- 津山市・JA・地元企業・農家の協力のもとしょうがの植え付けから収穫までを行う。

活動の効果

- 料理コンクールの開催、参加により地域食材を自ら料理に活用し、発信することで、地域の活性化に貢献。多くの生徒が特産品や地域に誇りを持つことができた。料理コンクール等で評価されることにより、生徒一人ひとりの自信につながった。
- ほとんど認知度がなかったが、しょうがの栽培体験が10年続いたことで、地元で津山といえばしょうが、津山東高校といえばしょうがといったイメージが定着した。多方面の方々と協力し、地産地消に取り組み、食で地域を支えることにつながっている。

奨励賞

広島県三次市

ビジネス部門

雇用

女性の活躍

若者の就労
意欲向上支援



No.7 農事組合法人 高幡

～自然と土地の恵みを生かす持続可能な農業～



早朝からアスパラガス収穫を支える集落女性



共同活動の取水堰の土砂撤去・左代表理事

経緯

- 平成14年、集落の40代・50代の3人が会社を退職して農業を開始。
- 既存の農業機械の共同利用を主体とした任意組織では持続不可能と考える。
- 平成15年、主体的な農業利用方策による農業振興と地域づくりを目指す特定農業法人として、農事組合法人高幡を設立。

取組内容

- アスパラガスと水稻を核に土地利用型作物を組み合わせた複合経営を行う。水稻苗を浮床育苗方式に転換。
- 健康に問題がある等社会参加困難者に就労の場を提供。会社退職者が業務の中枢として就労。
- 中山間直接支払協定組織等の組合員として集落の共同作業を積極的に行っている。
- 小学校のアスパラ学習の受け入れを実施し、給食へ提供も行う。

活動の効果

- 設立時には29戸、15haだったが、令和3年には37戸、25.8haにまで農地集積が進んでいる。
- 多様な人材に積極的な就労機会を提供することができている。
- アスパラ栽培では、技術指導、視察の依頼を多く受け入れている。

奨励賞

おおたけし
広島県大竹市

コミュニティ部門

伝統の継承

山口	島根	鳥取
	★広島	岡山
	愛媛	香川
		徳島
		高知

おおたけすきわしほぞんかい

No.8 おおたけ手すき和紙保存会

～地元産の楮にこだわった手すき和紙づくり～



流し漉(す)きの技法で1枚1枚 漉きあげる



楮の脇芽を摘んで真っ直ぐ大きく成長させる

経緯

- 江戸時代の初期に始まった和紙生産が衰退していき、1人となった製紙家が伝統技術を守ってきた。
- 保存会を発足し原料の楮の栽培から紙すきまで行ってきたが、高齢化により活動困難に。
- 伝統を絶やすまいと集まった有志たちが作業を手伝い、新たな会員による活動が始まった。

取組内容

- 400年続く手すき和紙の製造技術を継承するため、年間2千枚程度和紙を製造。
- 市内の畑に楮を栽培し、刈り取りから皮を剥ぐまでをボランティアの協力を得て実施。
- おおたけ手すき和紙の里に体験学習棟を設置し、紙すき体験や各種の講座を開催。
- 市内及び近隣の小中学校、高校に対して、出前授業(座学・紙すき体験)と校内に楮の植え付け等の実施。

活動の効果

- 紙すき体験の体験者数は増加し、手すき和紙の魅力を伝えることにより伝統の継承につながっている。
- 楮の栽培や皮を剥ぐ作業などは市外在住者や地元企業からの幅広い参加があり、地域活性化に貢献している。
- 体験学習等を通して、子供たちに対する地域の教育力としての一翼を担っている。

奨励賞

ひがしひろしま
広島県東広島市

コミュニティ部門

6次産業化

高齢者の活躍

学生・若者の
活躍



なのはなくらぶ

No.9 菜の花くらぶ

～菜の花で特産品と地域の誇りを生み出す～



菜の花収穫の様子



商品の梱包作業

経緯

- 家庭菜園やコミュニティが健康に寄与していることと、若い世代に届く地域の特産品がないことに気づく。
- 「緩やかに続くコミュニティづくり」と「お母さん方の手仕事と学生の新しい発想から生まれるものづくり」の両立を目指し、地域資源を利用した商品作りをスタート。

取組内容

- 地域おこし協力隊・大学生・地域住民が連携し、地域資源を利用した「菜の花 Salad Salt」を製作・販売。
- 学生の声から、町内お米農家とのコラボ商品が実現。
- 町内店舗2件への商品設置、地域内周知のための地域センターへの商品設置や全国への発信のためのECでの販売を行う。

活動の効果

- 学生・町民・地域おこし協力隊が集まり商品の仕込みを行い、世代間交流が生まれ、地域コミュニティーの形成に貢献している。
- 商品数増大のため、町内の一般家庭・農家との契約数を増やし、地域活性化につながっている。

奨励賞

あきたかたし
広島県安芸高田市

ビジネス部門

6次産業化



ひろしまけんりつよしだこうとうがっこう あぐりびじねすか
No.10 広島県立吉田高等学校 アグリビジネス科

～ブドウをとおしてみんな笑顔に！～



ブドウの収穫の様子



道の駅でのブドウ販売の様子

経緯

- 農業者の高齢化や後継者不足等により、地域農業の衰退が危ぶまれる中、できることから始めようとする。
- 地域農業を盛り上げ、活性化していくために、アグリビジネス科の主力生産物であるブドウの生産のノウハウや販売の実習等を積極的に行うこととした。

取組内容

- 実験場で生産したブドウを地元道の駅で、地域の方々に向けて販売。生徒は生産から流通・販売までの一貫した流れを学習。
- JA広島北部・安芸高田市役所主催「アグリセミナー『ブドウ現地研修会』」で実習教諭と生徒が中心となり、ブドウ生産やプロジェクト活動について説明。
- 地元小学生のブドウ収穫体験等を実施し、食育の推進等を図る。

活動の効果

- セミナー参加者と生徒が意見交換を行い、高品質なブドウの生産に向けて有意義な技術交換の場にする事ができた。
- 農業の魅力や学習活動の成果等を積極的に発信し、地域農業の活性化や地域の発展につながっている。

奨励賞

やまぐちし
山口県山口市

コミュニティ部門



棚田保全

環境保全・
景観保全

高齢者の
活躍

よしきはたしゅうらくきょうてい

No.11 吉敷畑集落協定

～棚田とシバザクラの景観で地域の魅力を発信～



集落ぐるみでシバザクラの植栽



美しく保たれた農地

取組経緯

- 高齢化が進む中、棚田を圃場整備したが、草刈りや泥上げ等の作業負担が大きく、農地の維持管理が困難に。
- 農地の維持管理に対応するため、非農家を含む地域一体となって棚田の農業を支える活動を開始。

取組概要

- 棚田の基盤整備を契機に集落営農を行い、高齢化に伴い継続が困難になった農地の集積等を実施。
- 機械の共同化や無人ヘリコプターによる協同防除体制の確立、鳥獣被害防止柵を農地の外周に設置。
- 法面管理省力化のため、国道沿い農地の法面にシバザクラを植栽。

活動の効果

- 「やまぐち棚田20選」である吉敷畑棚田とシバザクラの景観形成の活動を通して地域の魅力を発信し、交流人口の増加、地域の活性化につながっている。
- 集落が一体となり農地を維持管理する活動を行うことで集落がまとまり、地域の伝統的な祭りの維持・継承がされている。

奨励賞

ひかりし
山口県光市

ビジネス部門

農林漁業

地産地消

食育・教育

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

ひかりしのうぎょうしんこうきょてんしせつ「さとのくりや」

No.12 光市農業振興拠点施設「里の厨」

～自然の恵みとふるさとの笑顔を～



周辺農地でのじゃがいも収穫体験



直売所の様子

取組経緯

- 直売所での新鮮な農産物の販売や飲食店での地場産食材の提供、学校給食における地場農林水産物の活用など、「地産地消」の取組を推進。
- 平成23年、農業振興や生産者と消費者をつなぐ場として、光市農業振興拠点施設「里の厨」を整備。

取組概要

- 地元産の農林水産物及び加工品を販売。
- 高齢の生産者等を対象に、集荷から出荷までの作業を代行。
- 種まきから収穫までの農業体験、農産物を利用した加工品づくりや調理体験を実施。
- 給食センター等との連携により、地元産食材の学校給食への安定的な供給体制を強化。

活動の効果

- 里の厨開設により出荷者が増加。売上げも増加し、生産者の所得向上に貢献。
- 野菜の育成方法や病害虫対策などについて学ぶ教室の開催や、農業体験研修を行うことで生産者と消費者が交流し、相互理解につながっている。
- 安定的に地元産食材を学校給食に提供し、産地や生産過程に関する情報発信を通じて、子供たちへの食育が図られている。

奨励賞

山口県長門市

ビジネス部門

農泊

ジビエ

鳥獣被害
防止



かぶしきがいしゃ えすでいーわーど

No.13 株式会社 SD-WORLD

～徹底的地域主義、温泉から新たな歴史を刻む～



商品開発したジビエのフリーズドライ製品



イベント開催時、多くのお客さんが列をつくる

取組経緯

- 俵山地域は湯治湯として知られているが、訪問客の減少や温泉宿の経営者の高齢化といった課題が顕在化。
- 地域再生制度を活用した小さな拠点づくりの構想が立ち上がり、地域経営会社という形態で会社を設立。

取組概要

- 温泉街でジビエや地域ならではの食材を提供する飲食店「たべ山」を運営。
- 観光客の多様なニーズに対応するとともに、地域住民との交流拠点として簡易宿泊形態のゲストハウスを開設。
- 地域の特産品を生かした商品開発に取り組み、道の駅等で販売。

活動の効果

- セントラルキッチンとして旅館に料理を提供することで、新規顧客やリピーターを獲得し、交流人口が増加。地域の活性化につながっている。
- 地域の特産品を生かして開発した商品が、道の駅の人気商品になっている。
- 飲食店、ゲストハウスともお客様に楽しんでいただいているとともに、リピーターの確保にもつながっている。また、取り組みがマスコミ等で取り上げられた。

奨励賞

あぶちよう
山口県阿武町

コミュニティ部門



山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

農村文化体験

棚田保全

環境保全・
景観保全

のうじくみあいほうじん きよなぎさふあーむ

No.14 農事組合法人 木与なぎさファーム

～江戸からの継承、伊能忠敬の恵みを今に！～



棚田と美しい夕日に包まれた田植え作業



地域の美化活動 みんなで花壇整備

取組経緯

- 平成22年に8人の農業者が「木与集落の明日の農業を考える会」を立ち上げ、関係機関を交えた勉強会や集落説明会を重ねた。
- 集落の農地を守ることを第一義に考えて、農事組合法人「木与なぎさファーム」を設立。

取組概要

- 集落が一体となり、機械の共同化や無人ヘリコプターによる共同防除体制を確立し、獣害防止柵を農地の外周に設置。
- 集落の大部分の農地を法人に集積し、水稻・麦を中心とした営農を行う。
- 棚田法面ヘシバザクラの定植や集落内水路へのコイの放流、花壇の整備を実施。

活動の効果

- 棚田の維持管理により「やまぐち棚田20選」に選定された。
- 集落の営農や環境保全活動等の中心的な役割を担い、農業及び景観の維持、農地保全に貢献している。
- 棚田で田植え体験等を実施して地域交流を行い、棚田の魅力をPRして地域の活性化に貢献。

奨励賞

徳島県三好市

ビジネス部門

6次産業化

耕作放棄地
対策

学生・若者の
活躍

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

高知

★徳島

ゆうげんがいしゃわーどこれくしょん なたんぶどうしゅじょうぞうしよ

No.15 有限会社WORLD COLLECTION Natan 葡萄酒醸造所

～新文化を創る！ワインで地域に循環を～



全くのゼロから。県内初の試み！



地元中高生の農業体験

取組経緯

- 2014年に移住し、自らの目標であったワイン用葡萄の栽培を開始。
- 徳島県にはワイナリーがなく三好市に葡萄農家がなかったため、遊休農地の開墾から始め、多くの農地が後継者不足により衰退していく現状を知った。

取組概要

- 遊休農地を開墾し、ワイン用葡萄を生産。収穫した葡萄で2018年から自社オリジナルワインの生産・販売を開始。
- 地元高校と苺ワインの開発・商品化に取り組む。地元中学生の農業体験研修の受け入れを行う。
- ワイン造りの全工程を徳島県内で行うため、三好市に自社醸造所を整備。

活動の効果

- 遊休農地の開墾を続け圃場を拡大することにより、徳島県産原料比率を上げ、ブランド化を推進している。
- 徳島県産ワインの全国発信のため、イベントやSNS等を利用し全国に地元食材をPR。地域の農業の活性化に貢献している。
- 地元の中高生の農業体験研修を受け入れ、若者が農業生産品にとどまらない農業の可能性を考える機会を提供している。

奨励賞

たかまつし
香川県高松市

コミュニティ部門

農村文化
体験

伝統の継承

環境保全・
景観保全

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川★

徳島

高知

とくといひえいりかつどうほうじん おくしおのえこうりゅうぼらんていあきょうかい

No.16 特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会

～スローライフを楽しみながら持続可能な社会に貢献～



まんぷく会



楽農人事業 茶畑再生

取組経緯

- かつては木・炭・農産物の供給や阿讃交通の要所として賑わっていたが、過疎化が進み、急速に活気が失われてきた。
- 有志20名が中心となり地区の活性化を目的に2006年に「奥塩江交流ボランティア協会」を設立。

取組概要

- 耕作放棄地となった茶畑を再生する「楽農人事業」を開始。「楽しんで農業」をモットーに主に地域外からの有志が集まり、現在は、お茶だけでなくソバ、野菜の栽培も行う。
- 毎月、地元でとれた食材を使った調理や食事会等を行うまんぷく会を実施。
- 環境フォーラム、炭焼き体験教室などを実施。

活動の効果

- まんぷく会は人々が集い、スローライフが楽しめるため、ボランティア活動の基盤となっている。
- 楽農人活動により耕作放棄地が再生され、山村の風景・景観が回復した。
- 炭焼き体験やわら草履作成等の環境フォーラム事業を行い、環境自然保護、持続社会への意識の普及を図っている。

奨励賞

香川県多度津町

コミュニティ部門

鳥獣被害
防止

教育機関
との連携

学生・若者の
活躍

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

No.17 香川県立多度津高等学校 建築科

～若き技術者達が集落を守る！～



箱罾試作1号の製作



猟友会との検証

取組経緯

- 多度津町と多度津高等学校の間で、平成25年に包括的連携・協力に関する協定書を取り交わす。
- 多度津町は平成28年以降、イノシシによる農業被害が深刻。
- 令和2年から有志生徒による箱罾製作プロジェクトが始動。

取組概要

- 町からの依頼に基づき、高校生が部活動の一環としてイノシシ捕獲用箱罾を製作。
- 猟友会等の協力を得て、実際に捕獲されたイノシシを用いて強度実験を行う。
- 完成品2基を町に寄贈。
- 駆除したイノシシの肉の有効活用のため、学校内で加工食品の開発に着手。

活動の効果

- 近年イノシシ被害が深刻だが既製品の運用が難しい離島で、猟友会に箱罾を運用してもらい、実際にイノシシを捕獲することに成功。
- 製作した箱罾の運用を続け、増産・提供することで更なる被害防止に務める。
- 箱罾の改良や追加製作、イノシシ肉の有効活用等地域資源を活用した6次産業化も含めた取り組みに発展を進めており、複合的な学習につながっている。

奨励賞

香川県まんのう町

コミュニティ部門

6次産業化

棚田保全

耕作放棄地
対策

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

★香川
徳島

高知

しまがみねのげんふうけいをまもるかい

No.18 島が峰の原風景を守る会

～初めて会った人達もいつか笑顔のソバづくり～



開墾して復活した農地



収穫したソバ打ち体験

取組経緯

- 「島が峰地区」は南方に阿讃山脈を望む標高800mの山間にある地区。
- かつて、畜産やキャベツ栽培を目的に開発されたが、人口減少・高齢化に伴い、荒地になっていた。
- この地の食文化や風景を次世代に残したいという想いで、2016年より荒廃地の開墾から活動開始。

取組概要

- 荒廃した農地を開墾し、寒暖差を利用したソバ作りを行う。
- ソバ栽培の体験を実施。収穫したソバでソバ打ち体験ができる「ソバ道場」を開催。地元小学生へのソバの種まき体験や外国人へのソバ打ち体験にも取り組む。
- 「ソバの花見会」を開催し、地元獅子舞やミニコンサートを行う。

活動の効果

- 令和2年度3.2haの農地を復活させることができ、順調に耕作面積を拡大している。
- 復活したソバ畑として、多くの見物客が訪れるようになった。花見会ではソバ目当ての来訪者以外にも棚田を見に来る来訪者、写真家が訪れ、関係人口の増加・地域活性化に貢献している。
- 地域おこし協力隊等若い人が活動に参加するようになり、活気があふれてきた。

奨励賞

愛媛県今治市

ビジネス部門

農林漁業

女性の活躍

六次産業化、高齢者の
活躍、地元食材活用

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

えひめけんぎょぎょうきょうどうくみあい おおはましぶじょせいぶ
No.19 愛媛県漁業協同組合大浜支部女性部

～来島海峡の天然真鯛「来島鯛」を食べてみて～



女性部のみなさん



鯛めし



あなご丼



鯛カツカレー



鯛だしうどん



鯛カツバーガー



鯛しおラーメン

商品開発したメニュー

取組経緯

- 大浜地区は、高齢化・後継者不足で漁業人口が減少傾向。
- 水産庁より浜プランの承認を受け、公園等が整備され、公園内に加工直売施設の整備が決定される。
- 大浜支所女性部が、魚介類の提供や宣伝を行う加工直売施設の運営者となる。

取組概要

- 大浜漁協で水揚げされる天然真鯛「来島鯛」を中心に魚介類を使ったメニューの商品開発に取り組む。
- 加工直売施設で、加工品の販売やその日に水揚げされた魚介類を使ったメニューを提供。
- 地元産の魚介類を使って地元大浜地区の活性化に取り組む。

活動の効果

- お客様から高評価で、売上も開店3年目には初年度の2倍を達成。
- 加工直売施設が地元高齢者のコミュニティ拠点や観光客を含めた市内外の方の交流拠点となっている。

奨励賞

にいはまし
愛媛県新居浜市

コミュニティ部門

農林漁業

高齢者の活躍

学生・若者の
活躍

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛★

香川

徳島

高知

にいはましりつべっしちゅうがっこう
No.20 新居浜市立別子中学校

～地域と共に野菜をつくり、共に未来をつくる～



地域の方に苗の植え方を教えてもらう様子



生徒全員で「別子ファーム」の看板製作

取組経緯

- 地域の活性化を目指そうと、2019年、生徒の一人が中学生と地域が協働で野菜づくりに取り組む活動『別子ファーム』を発案。
- 2020年、地域の方から野菜づくりの知恵をいただきながら、協働で野菜づくりをスタート。

取組概要

- 地域の方から無償で土地を借り、畑づくりから苗植え、栽培方法まで指導してもらい、協働で野菜づくりに取り組む。
- 生徒が地域の人とパートナーシップを築くことで、過疎問題等の地域課題解決に向けて取り組んでいる。
- 生徒は野菜の生産から流通、消費までの経済活動を体験的に学習。

活動の効果

- 生徒と共に野菜づくりを行うことで、地域の方にとっての喜びや希望となっている。
- 生徒は野菜づくり等の体験を通して農業と農産物の尊さを理解でき、流通・消費の経済活動を体験することにより、社会で活躍するための視野を広げることができる。

奨励賞

愛媛県西条市

コミュニティ部門

棚田保全

伝統の継承

耕作放棄地
対策

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

うちぬき21ぷろじえくと せんじょうたなだちーむ
No.21 NPO法人うちぬき21プロジェクト 千町棚田チーム

～千町棚田の環境保全と地域活性化を図る～



棚田オーナーによる稲の収穫



地元高校生との放置竹林調査・整備

取組経緯

- 千町棚田は、約80ha(石組2300枚)の農地を開拓し、稲・麦作中心の農業を行ったことに始まる。
- 近年、耕作放棄地の増加、獣害被害による石垣の崩壊が進む。
- 千町棚田の石垣保存と自然農法の農業で棚田の環境保全と地域活性化を目指し活動開始。

取組概要

- 耕作放棄地となっている棚田を借り入れ、市民と一緒に稲や野菜を栽培し、棚田の環境保全活動を行う。
- 棚田オーナー制を実施し、農業や石垣の保全に取り組む。
- イベントや農業体験活動、棚田ライトアップを実施。
- 地元高校生と放置竹林の整備を行い、廃棄される竹の利用にも取り組む。

活動の効果

- 活動当初20aから始めた水田面積は、2000年度には耕作放棄地2haを借り入れ稲作、野菜栽培等を行い、耕作放棄地の解消に寄与している。
- そば栽培や地域伝統行事の継承活動を行うことにより、地域の活性化が図られている。

奨励賞

さいじょうし
愛媛県西条市

コミュニティ部門

地産地消

伝統の継承

食育・教育

山口

島根

鳥取

広島

岡山

愛媛

香川

徳島

高知

さいじょうしえいようきょういんぶかい
No.22 げんきアップ！おうえんたい(西条市栄養教員部会)

～みそ汁でつなぐ食の未来 人生100年時代～



食材収穫から始まる親子料理教室



小中学生料理コンクール

取組経緯

- 食育の必要性が高まり、西条市においても小中学校に栄養教諭が配置されたが、11名しか配置されなかった。
- 栄養教諭未配置校及び家庭・地域においても食育の推進を図るため「げんきアップ！おうえんたい」を結成。

取組概要

- 麴から手作りするみそ作りを行い、家庭での体験学習として「チャレンジtheみそしる」を実施。「みそしるカレンダー」を発行。
- 食材収穫から始まる親子料理教室を実施。
- 地場産物を使用した給食レシピを考える「小中学生料理コンクール」を実施。
- 食育参観出前授業を実施し、市内全域で食育を推進。
- 郷土菓子の「みかん餅」の商品開発を行う。

活動の効果

- 料理コンクールで入賞したレシピは市内の給食献立に取り入れられている。
- 「みかん餅」は県内の学校給食に広く取り入れられている。
- 地産地消のよさや伝統食、郷土料理への関心が高まっている。